

開口上部は小屋組を利用してトラス梁を形成し、スパンをとばす。

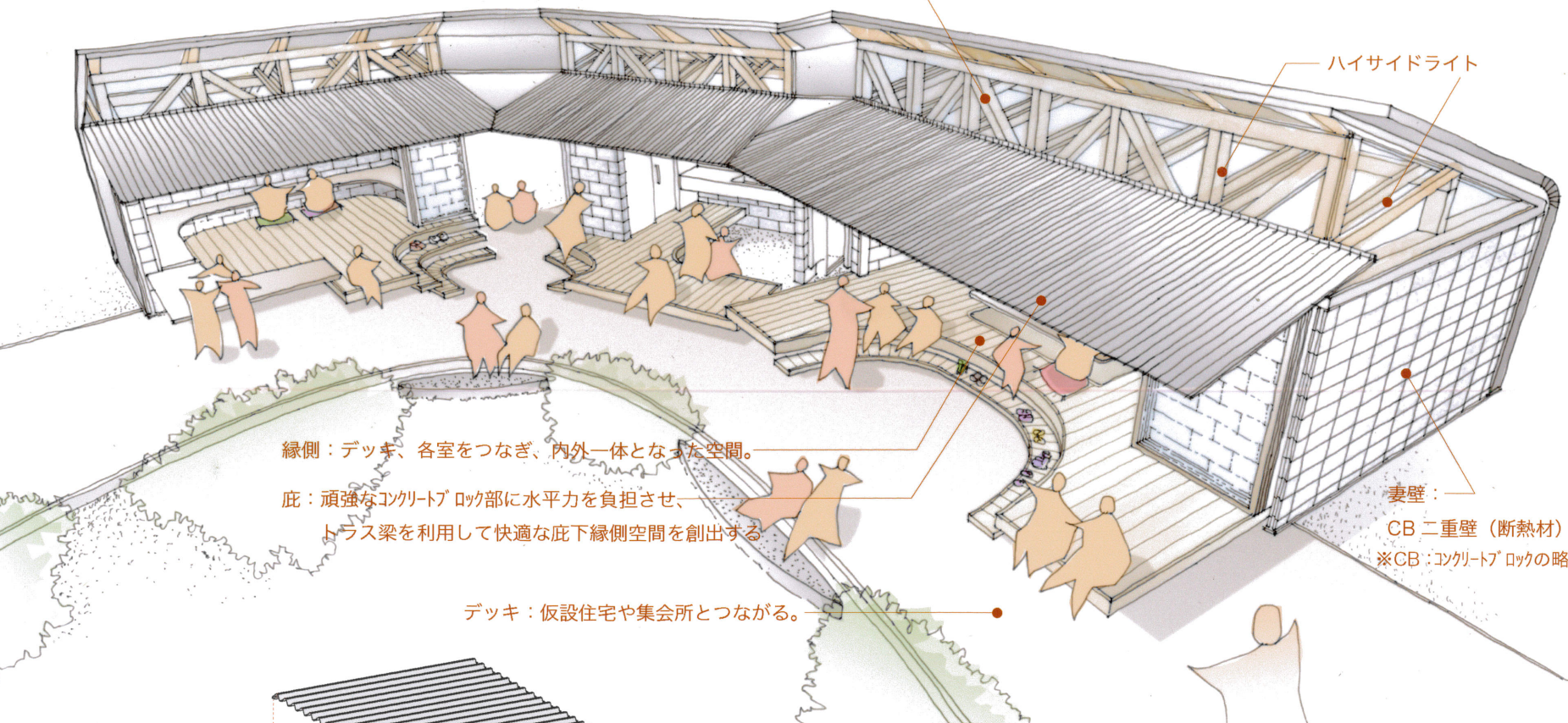
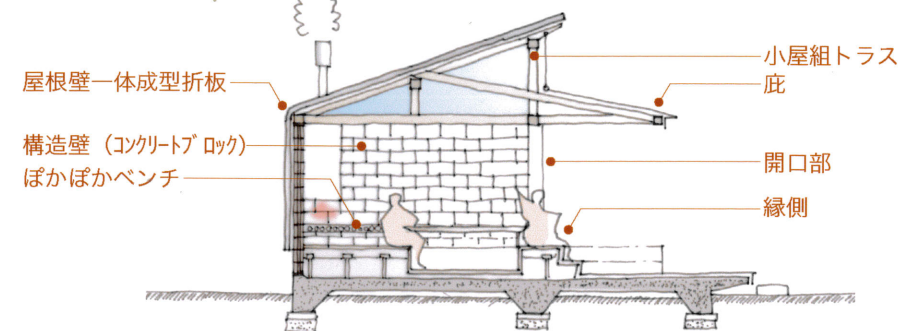
■コンクリートブロックの特徴

- ①工期短縮が計れる
- ②耐震性に優れる
- ③広く流通し手に入りやすく扱いやすい

これらを活かし、被災地における「みんなの家」を提案します。

プライバシーの確保が難しい被災地において、コンクリートブロック材料は、「安全で快適なみんなのプライベート空間」を迅速に提供できる材料であると考えます。

- ①型枠工事が不要なCB造は工期短縮が期待できます。その他の部材においても、工場製作可能なトラス、一体成型された折板屋根材料等を駆使し、現場作業が少なく短工期で施工可能な建物を目指します。
- ②主構造体となるCB壁部をしっかりと作り、その耐震性能を活かして大きな軒下の縁側空間と、内外一体となるような大きな開口部を設け、快適な空間を創出します。
- ③CB材はどこでも手に入りやすく、扱いやすい材料であり、材料や作業員不足にも対応できると考えます。



○一体成型された折板屋根

○ハイサイドライトとし、開放感を得る

○ハイサイドライト

○小屋組: 木製トラス
※工場製作。
※臥梁、開口上トラス梁を兼ねる。

○断熱材 + 外壁CB壁

○構造体CB
※開口部は限定して設ける

○大きな開口部

※コンクリートブロックの断熱性能と吸水性能には十分考慮する。
※外断熱 + 止水壁 (水がかりとなる水下側壁面はCBを用いない。) の構成とし、快適性を担保する。

※水下側はCBが雨水で汚れるため、最外壁を板金で形成。屋根と一体成型材とし、工期短縮を計る。

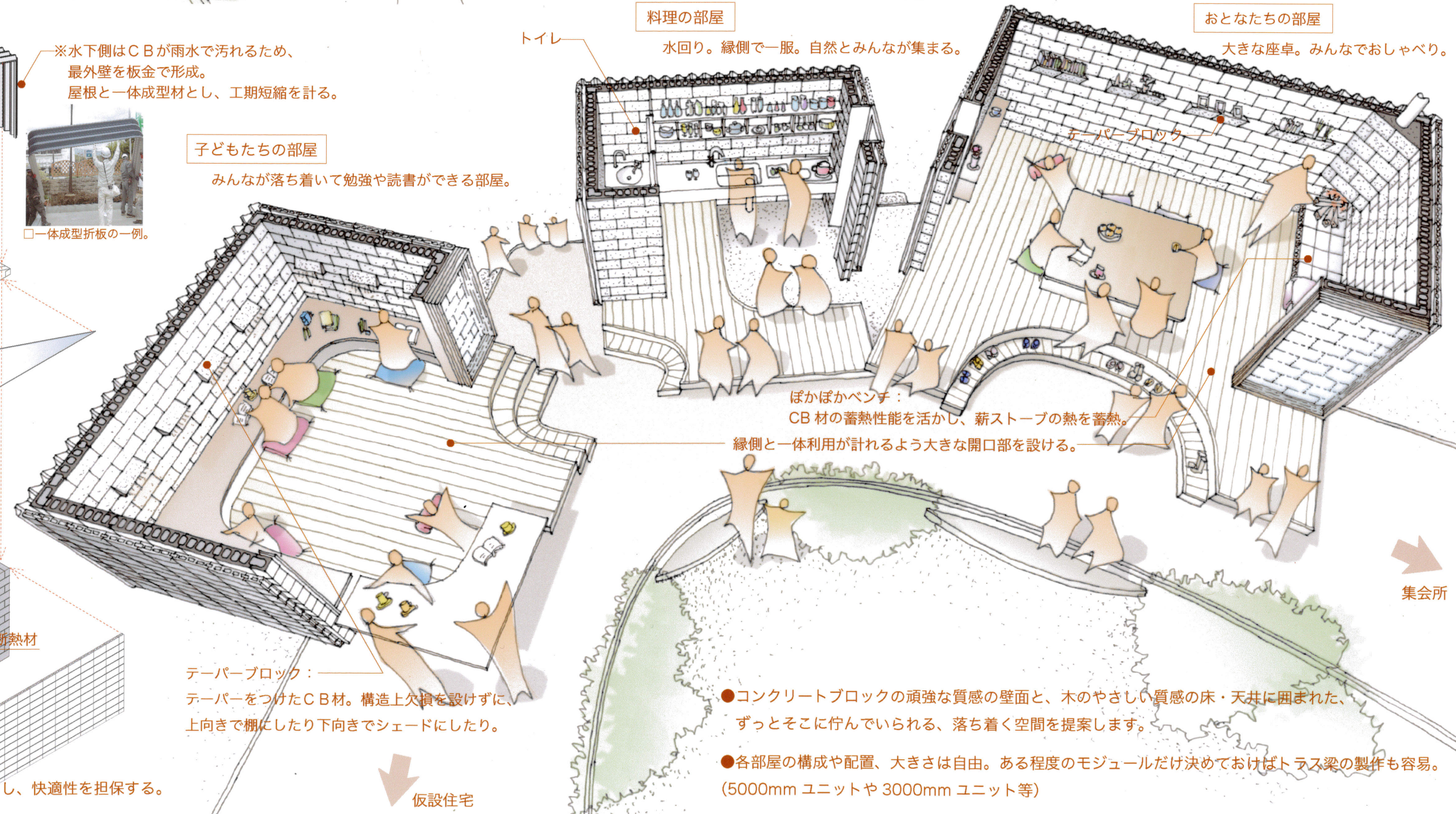


□一体成型折板の一例。

子どもたちの部屋
みんなが落ち着いて勉強や読書ができる部屋。

料理の部屋
水回り。縁側で一服。自然とみんなが集まる。

おとなたちの部屋
大きな座卓。みんなでおしゃべり。



- コンクリートブロックの頑強な質感の壁面と、木のやさしい質感の床・天井に囲まれた、ずっとそこに佇んでいられる、落ち着く空間を提案します。
- 各部屋の構成や配置、大きさは自由。ある程度のモジュールだけ決めておけばトラス梁の製作も容易。(5000mmユニットや3000mmユニット等)

仮設住宅

集会所